※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	2	Vision QuestⅡ Ace

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした総合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を身に着けましょう。また、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を身につけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して聞くことができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して読むことができる。 ・説明や物語などを，聞き手に伝わるように音読することができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見を交換したりすることができる. ・与えられた話題について，即興で話すことができる. ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴,話す速度,声の大きさなどに注意しながら話すことができる.	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見を交換したりすることができる. ・事実と意見などを区別して話すことができる. ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴,話す速度,声の大きさなどに注意しながら話すことができる.	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔な文章を書くことができる. ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる. ・事実と意見などを区別して書くことができる.

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙・表現、文法を４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる能力を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりする。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝えあっている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自立的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学 期	Lesson1 ～ Lesson5	話すこと （やりとり）	a: 名詞句、形式主語、無生物主語など様々な主語を使って豊かな表現をする。自動詞、他動詞の区別ができる。文型を理解し、正しく使える。 b: 日本の行事や文化、職業についてパートナーと話し合うことができる。自分の家族を紹介する表現を使ってやり取りできる。 c: パートナーの話を聞いて、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直すことができる。相手に質問し、自分の知りたい情報を得られる。	インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 様々な主語、自動詞、他動詞、文型を理解し、まとまりのある文で表現することができる。 b: 日本の行事や文化を紹介することができる。興味のある職業について、伝えることができる。 c: 多様な表現を用い、理由を述べることができる。	発表
		書くこと	a: 様々な主語、自動詞と他動詞、文型を正しく使って文を作ることができる。 b: 日本の行事や文化、職業について書くことができる。 c：理由や具体例を加えて説明できる。	レポート
		聞くこと	a: 名詞句、様々な主語、自動詞、他動詞、文型を理解し、内容を聞きとることができる。 b: 日本の行事や文化、職業に関する会話を聞き取ることができる。 c: 日本の行事や文化、職業に関する会話を聞き取ろうとしている。	定期考査（リスニング）
	中間考査			
	Lesson6 ～ Lesson10	話すこと （やりとり）	a: 使役動詞、直接話法、間接話法、能動態、受動態を正しく使ってやり取りできる。 b: 家族や趣味について伝えあうことができる。 c: 会話の相手を励ましたりしながら会話をすすめることができる。	インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 使役動詞を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。直接話法、間接話法を場面に応じてつかいわけることができる。 b: 家族や趣味について詳細に話すことができる。 c: 具体的な情報を加えて伝えることができる。	発表
		書くこと	a: 使役動詞、直接話法、間接話法を使い分けることができる。正しい時制を用い、動詞の形を的確に変えることができる。 b: 家族や趣味について書くことができる。 c: 考えや気持ち、具体例を挙げて伝えることができる。	レポート
		聞くこと	a: 話法の概念を理解している。使役動詞を含む文を聞いて、話者の意図を理解できる。 b: 家族や趣味について伝えあう会話を聞き取ることができる。 c: 家族や趣味についてその経験を伝えあう会話を聞き取ろうとしている。	定期考査（リスニング）
	期末考査			
2 学 期	Lesson11 ～ Lesson15	話すこと （やりとり）	a: 仮定法、助動詞、様々な名詞の修飾、関係代名詞を使ってやり取りできる。 b: 仮定法、助動詞、様々な名詞の修飾、関係代名詞を使って、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。 c: 様々な表現を用いて気持ちを詳細に表現することができる。	インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 仮定法や助動詞、様々な名詞の修飾、関係代名詞を用い、多様な文で伝えることができる。 b: 世界遺産を紹介することやボランティアの利点を述べること、あるテーマに対して賛成、反対の意見を述べることができる。発表したり、発表に対する意見や感想を述べることができる。。 c: 情報や具体例を加えて詳細に説明することができる。	発表

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 世界遺産、ボランティア、賛成・反対の意見について書くことができる。 b: 世界遺産の紹介文、ボランティアをすることの利点、賛成・反対の意見を書くことができる。 c: 自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。	レポート
		聞くこと	a: 仮定法、助動詞、様々な名詞の修飾、関係代名詞を理解している。 b: 世界遺産やボランティア、あるテーマに関するディベートの会話を聞き取ることができる。 c: 世界遺産やボランティア、ディベートに関する会話を聞き取ろうとしている。	定期考査（リスニング）
	中間考査			
	Lesson16 ～ Lesson20	話すこと（やりとり）	a: 副詞節を含む文を話すことができる。比較・最上級を正しく用いて、表現することができる。 b: 社会問題や二択の議題、思い出深いプレゼントについて伝えあうことができる。 c: 詳細な情報を加えて伝えようとしている	インタビューテスト
		話すこと（発表）	a: 副詞節や比較・最上級を用いて文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。 b: 社会問題や猫派、犬派など、二択の議題について自分の意見を述べることができる。思い出深いプレゼントを紹介することができる。 c: 副詞句、副詞節、否定の語を用いてわかりやすく伝えようとしたりしている。	発表
		書くこと	a: 副詞節、比較・最上級を用いて複文を作ることができる。 b: 社会問題や二択の議題、思い出深いプレゼントについて工夫しながら詳細に伝えることができる。 c: 意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章に書いて伝えようとしている。	レポート
		聞くこと	a: 副詞節・比較・最上級を含む文の用法を理解している。 b: 社会問題や、猫派、犬派など、二択の議題について話されるやり取りを聞き取ることができる。 c: 社会問題や、二択の議題について話されるやり取りを聞き取ろうとしている。	定期考査（リスニング）
	期末考査			
	Part2 Lesson1 Lesson6	話すこと（やりとり）	a: パラグラフの構成を意識して、比較・対象、原因・理由・結果を述べることができる。 b: ロボットの有用性、英語を学ぶ意義、都会と田舎について自分の考えを伝えあうことができる。 c: 自分の主張の理由や根拠を加えて詳しく説明しようとしている。	インタビューテスト
		話すこと（発表）	a: パラグラフの構成を意識して、比較・対象、原因・理由・結果を含むパッセージを作って発表できる。 b: 様々な社会問題や、テーマについて自分の意見を発表することができる。 c: 意見や主張の理由や根拠を具体的に示して伝えようとしている。	発表
		書くこと	a: パラグラフの構成を意識して、比較・対象、原因・理由・結果を的確に用いて、パッセージを作ることができる。 b: 英語を学ぶ意義について、自分の意見を書くことができる。 c: 自分の主張の理由や根拠を加えて説明しようとしている。	レポート
		聞くこと	a: 複数のパラグラフから構成されるまとまりのあるパッセージを聞いて、内容を理解し、設問に答えられる。 b: ロボットの有用性、英語を学ぶ意義、都会と田舎についての会話を聞き取ることができる。 c: ロボットの有用性、英語を学ぶ意義、都会と田舎についての会話を聞き取ろうとしている。	定期考査（リスニング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度